

SPM入浴剤 NP4 (powder)



2014年1月22日

(NP4はNP2, NP3を改良したものです。作用効果は全く同じです)

SPM入浴剤を2リットルのペットボトルに溶かして使う方法

2リットルのペットボトルに小袋(液の素)以外の入浴剤粉末を全て入れ、水またはお湯(40~60℃)約1500gを入れて時々振って下さい。(水1日、お湯1時間)

[2リットル以上の広口の容器で溶かすと作るのが容易です。]

粒状の結晶が完全に溶けて、温度が冷めてから、小袋(液の素)の粉末を入れてください。子袋(液の素)の粉末は使い始める少し前に入れてもすぐに溶けます。

2リットル(2000g)の溶液ができます。30日分(一回65g)の入浴剤です。

SPM-入浴剤



SPM入浴剤の使用法

150~200リットルのお風呂には一回65g(コップ約7分目)をお湯に入れます。さらに天然塩(瀬戸のほんじお、あらしお、赤穂の塩、死海の塩など)を毎回50~100g入れるとさらに効果が増します。特に死海の塩はカリウム、マグネシウムが多く肌の改善や美容にも使われます。にがりも適量加える方法もあります。使用量はSPM入浴剤65g~100gの間で肌の状態に合わせて適宜調整して下さい。

他のペットボトルによる入浴剤の作成

ボトル容量	加える水の量	全体の重量	一回分使用量	別途加える塩	参考
2000cc	1500g	2023g	65g×30回	100g	
1500cc	1000g	1523g	50g×30回	100g	
1000cc	574g	1097g	35g×30回	100g	N液と同等

1500ccや1000ccの場合溶けるのに時間がかかります。2~5日

SPM入浴剤の効果

お湯の塩素を除去します。肌にまるやかなお湯になります。SPM液が肌にしみ込んで肌を改善し、保湿効果も高く、痒みを軽減します。SPM入浴剤は弱酸性で肌を引き締める作用があります。湯冷めもしにくい。他のアルカリ性入浴剤と一緒に使うと中和してしまうので、単独で使用して下さい。なお、塩を加えると肌にミネラルを補給ししっかりと肌になります。湯上がりはシャワーなどで流さずタオルで拭いて乾かして下さい。さらにSPM-Y液またはH液を塗ると一晩中保湿ができ美しい肌を保ちます。

保存方法

入浴剤(粉末)の保存は袋(粉末)のまま冷蔵庫(冷蔵、冷凍)または室温の涼しいところに置いて下さい。(室温1か月、冷蔵冷凍3か月)水に溶かした入浴剤の液は室温では一ヶ月位使用できます。室温が高いと早く劣化します。冷蔵庫で保管すると2ヶ月程は使用できます。水に溶かした入浴剤は冷蔵庫で保管し、使用する分だけ500ccの小さいペットボトルなどに小分けしてお風呂に置いておくと便利です。時間が経つと、徐々に黄色みを帯びてきます。多少黄色になっても使用できます。